



わどまり

議会だより



発行 平成22年7月26日 鹿児島県和泊町議会
 編集 議会報編集委員会 〒891-9192 鹿児島県大島郡和泊町和泊10番地 TEL 0997-92-2569 FAX 0997-92-3176
 ホームページ <http://www.town.wadomari.lg.jp/>

和泊町水道事業第7次拡張計画竣工式典



本町の水道水は全国各地の名水に優ります。

第108号

主な内容

可決された議案事項……………	2～3
一般質問 等 ……………	4～5
先進事例に学ぶ……………	6～8
奄美群島市町村議員大会……………	9
第1回臨時議会 等 ……………	10

町の人口

平成22年7月1日現在

男性	3,532人
女性	3,704人
合計	7,236人
世帯数	3,187戸

平成22年 第2回定例会

6月15日から6月18日までの3日間

平成22年度一般会計予算 58億9413万2千円 4259万9千円を追加

平成22年度一般会計補正予算(第1号)は修正可決

(口蹄疫緊急対策事業費に4,300千円、テニスコート整備費は削減)

おもな議決事項

補正予算

平成21年度各会計補正予算は、事業の確定による予算措置です。

◎平成21年度一般会計補正予算(第9号)

予算の総額は64億5584万3千円。

◎平成21年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号)

予算の総額は10億8222万2千円。

◎平成21年度老人保健

特別会計補正予算(第4号)

予算の総額は1739万4千円。

◎和泊町介護保険特別会計補正予算(第4号)

予算の総額は7億6174万一千円。

◎平成21年度和泊町後期高齢者医療特別会計補正予算(第5号)

予算の総額は6899万7千円。

◎平成21年度伊延港ふ頭用地造成事業特別会計補正予算(第1号)

予算の総額は3025万8千円。

◎平成21年度和泊町農業集落排水事業特別会計補正予算(第5号)

予算の総額は2億7563万2千円。

◎平成21年度奨学資金特別会計補正予算(第1号)

予算の総額は92万3千円。

◎平成22年度一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4259万9千円を増額し、歳入歳出予算の総額の総額を歳入歳出それぞれ58億9413万2千円とするもの。

◎平成22年度和泊町農

◎平成22年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1156万7千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ10億862万4千円とするもの。

◎平成22年度和泊町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ58万6千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億2446万7千円とするもの。

◎平成22年度和泊町農業集落排水事業特別会

計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額 歳入歳出それぞれ16万円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億5301万5千円とするもの。

行うもの。

◎和泊町肉用牛特別導入事業基金条例の一部を改正する条例

基金条例の一部を改正し、基金の処分に関する条を加え改正するもの。

◎和泊町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い所要の改正を行うもの。

◎和泊町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定

国家公務員における一般職の職員の勤務時

間、休暇等に関する法律の改正に伴い所要の改正を行うもの。

◎和泊町違法駐車等の防止に関する条例の一部を改正する条例

道路交通法の一部改正に伴い引用条文を改正するもの。

その他

◎和泊町辺地に係る総合整備計画の変更について

和泊町辺地に係る公共的施設総合整備計画の事業費、事業量及び事業内容の変更を行うもの。

採択された陳情等

に関する陳情書

◎選択的夫婦別姓制度法制化に反対する意見書の提出を求める陳情書

◎道路整備に関する請願書(玉城字)

意見書(議員提出)

◎花き流通施設整備事業導入要望書

◎選択的夫婦別姓制度法制化に反対する意見書

◎法務局出張所統廃合

条例

◎和泊町税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い所要の改正を行うもの。

◎和泊町国民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法施行令及び国税収納金整理資金に関する法律施行令の一部を改正する政令の施行に伴い所要の改正を



「広く町民の利用を」とあるヤーシチ公園全景

一般質問

町民に代わって行政を問う

平成22年(6月)第2回議会定例会

口蹄疫問題について



泉 秀樹議員

質問 ①畜産農家への支援をどう考えているか。

答弁 国や経済連では、無利子のつなぎ資金の融通や濃厚飼料、消毒槽、消毒液の無償配布等を実施している。町としては、①5月セリ市売却予定だった子牛1頭に対し1万円の飼料費助成金を支給する。②口蹄疫経営維持緊急資金や家畜疾病経営維持資金の借入に際し発生する利子を補給する。③町税、県税の支払猶予制度を活用し、該当者からの相談に応じる。等の措置をとっている。

②口蹄疫を島内に侵入させないため、どのような対策を講じてきたか、又、今後どのように取り組んで行くのか。

答弁 区長会やSSTV、ホームページ等を活用し、口蹄疫に関する情報と、その防衛策に対する協力を町民に呼びかけている。又、島内への口蹄疫侵入防止対策として、空港、港において、旅行者の足元消毒を実施

し、入港時間帯に出入りする車両のタイヤ消毒、下船した大型車の噴霧消毒を実施している。畜産農家においては、J Aと共済組合による消毒槽、消毒薬、石灰の無償配布を行い、消毒の徹底を呼びかけている。

ヤギについても感染の可能性があるので、飼養者に対し消毒液の配布を行い、衛生管理の実施をお願いしている。発生地域における防疫措置が完了し、清浄化となるまで牛、豚、ヤギの飼養者への衛生管理徹底の啓発を行い、口蹄疫侵入防止に努める。



水際で防疫対策を徹底

③種雄牛3頭が感染を回避するために避難されているが、管理状況はどうなっているか。

答弁 種雄牛3頭は、5月28日に本町に移動してきた。乗船前の鹿児島新港と和泊港において、積んできた車両全面の噴霧消毒と管理者の足元消毒を入念に実施したうえで受け入れてい

る。管理者は、種雄牛農家から派遣された1名で、家畜保健衛生所の職員から衛生管理の指導を受けて管理に当たっている。

口蹄疫ウイルスの潜伏期間は、10日となっているため、5月28日と、6月7日の確認調査では、本牛3頭に異常はなく良好な管理状況にある。今回、本町に避難している種雄牛は、本島だけでなく鹿児島県に広く供用されている種雄牛で、宮崎県の現状を見てもわかるように種雄牛の保護が、本町の畜産振興の面からも重要な取り組みである事を、町民、生産者の皆様にはご理解いただき、受け入れ農家への配慮をお願いしたい。

④セリ市再開の見通しと再開後のセリ値をどのように予想しているか。

1. 周産期医療について
2. 特別支援教育について
3. 経済浮揚対策について



盛 泰夫議員

質問1 ①異常分娩対策を急ぐべきではないか。

答弁 沖永良部与論地区広域組合消防本部のまとめた、平成21年1月から平成22年5月までの

答弁 宮崎県での口蹄疫発生が未だ沈静化せず、殺処分が進まない状況下では、セリ再開の見通しが立っていない。しかし、宮崎県で最終発生のお口蹄疫における防疫措置が完了し、その後、10日間様子をみて以後の発生が無い場合、セリ再開についての予定が立つ見通しである。セリ再開後のセリ値について、購買者に対して経済連が実施した意向調査では、県内購買者の牛舎は、数百頭単位分空いている事などから、購買意欲は高いと考えられるが、口蹄疫発生の影響による枝肉価格の下落や適正出荷月齢からのズレなどの要因が子牛価格に反映されるおそれがあり、予測がつかない。

沖永良部島における島外搬送は16件あり、内、本町の妊婦及び新生児の搬送状況は妊婦7件、新生児4件となっており、自衛隊ヘリや沖繩県のドクターヘリによる、沖繩県の医療機関への搬送がほとんどとなっている。

異常分娩には様々な要素や症状があるので、妊婦の実態調査、搬送された場合の費用やその後の経過等について調査をしながら、異常分娩に対しては平成23年度から精神的、経済的な

負担の解消も含め対応している。



「島の産声を守る会」
との意見交換会

②本島の産科医確保についてどのように考えているか。

答弁 沖永良部島においても、2月に島内の多くの妊婦さんが分娩している病院の医師の高齢による、分娩業務の休止問題が出現し、和泊、知名両町合同で病院側の事情を聞き、赴任する産科医への支援対策を協議し、その確保支援対策として当初予算に「産科医等確保支援事業費」を計上してある。町としても、引き続き常勤の産科医の確保を図り、安心して産み育てられる環境づくりについては、住民、医療機関、事業所、行政等の関係者が一体となって、情報の共有化を図り、分娩環境の整備を推進していく。

質問2 本島における特別支援教育の方向性についてどのように考えているか。

答弁 本町においては、現在、和泊小学校に2学級、和泊中学

校に2学級の特別支援学級が設置されている。中学校の特別支援学級に在籍している生徒については、卒業後、島内の高校に特別支援学級が設置されていないことから、島外の養護学校へ進学しなければならぬ現状がある。保護者の立場に立って、海を越えて遠い場所まで学ぶ子どもの将来を考えると、大きな悩みがある。高校における特別支援教育体制には、特別支援学校高等部及び、文校、文教室、訪問教育がある。障害のある生徒やその子どもを育てる保護者を支える観点からも、子ども達の教育ニーズに応じた高校教育の体制整備を図っていく。

質問3 奄美群島振興開発事業を含め、国の交付金制度政策を積極的に活用すべきではないか。

1. 今年度の奄美群島振興開発事業の本町の影響について
2. 第1次産業の振興と施策について
3. 住宅対策と公園整備について



伊集院 徳二議員

質問1 ①全体の奄美群島振興開発事業予算が29%減額になっているが、交付金との関係はどのように変わったのか。

答弁 社会資本整備総合交付金・農山漁村地域整備交付金と

積極的に活用すべきではないか。

答弁 今回の交付金制度については、自治体の知恵を出すことでハード面と併せソフト的な整備もできる非常に使い勝手のいい予算の制度である。概要については、基幹産業を主として事業費の20%以内を効果促進事業費としてソフト面の整備に当てることができ。例えば、道路整備については、観光案内情報版、防犯灯など、幅広く活用でき、まさしく知恵の出どころである。奄振事業の交付金を含め実施計画に向けて、企画、政策プロジェクトチームを発足させたところである。今後各課の連携と情報の共有により、交付金の活用を含め、有利な事業に積極的に取り組んでいく。

先に制度化が先行し、事業実施の詳細は後から示されるといいう状況で、各課連携により情報の共有を図りながら事業導入に取り組んでいく。

②今年度の国営地下ダム予算の減額に伴い、事業計画への影響はどうか。

答弁 平成22年度予算額は、前年度比約3分の1の7億1千万円と大幅な減額となり、地下ダム本體工事に一部着手する予定



国営水利事業所職員の説明会

であったが、実施できないとのことである。しかしながら、全体の計画の変更等については、現段階では考えていないということ。今後は、予算の拡大と継続的な事業推進等の要請活動を行っていく。

質問2 ①農業者所得向上のための具体策をどのように考えているか。

答弁 各作物とも農業者の栽培技術の向上と適期植付や徹底した肥培管理、適期収穫につとめ、高収量と高品質対策に農業者と一体となって取組み、農業者簿記や農作業日誌記帳に基づく、ムダ、ムリ、ムラがないかをチェックし、経営診断や経営分析を行うことが、農業者所得の向上につながるものと考えている。

②農業機械の事故防止対策をどのように考えているか。

答弁 沖永良部警察署や農業機械取扱店の方々と合同で事故防止対策会議を開催し、事故防止策を検討し、それぞれの部署で

事故防止の為に、安全使用について啓発活動を行っていく。

③沖永良部漁協の製氷機導入事業計画の進捗状況はどうか。

答弁 平成23年度に基地周辺対策施設整備事業により、実施する予定で協議を行っている。

質問3 ①喜美留住宅建替えと住宅マスタープランの計画はどのように進んでいるか。

答弁 8月に基本設計に着手し、引き続き実施計画を行い年度内には工事着手し、来年10月頃には一期工事を東側の公園敷地に二階建の八戸の鉄筋コンクリート住宅を完成させたいと考えている。また、残りについては、平成27年度に用地全体が完成するよう計画し、マスタープランについては、平成23年度に着手する。

②和泊ヤシチ公園の全体計画はどのように進んでいるか。

答弁 今年度はグラウンド施設の南側に人工芝のテニスコート3面を建設する。今後は、東側町道脇の駐車場を整備し、駐車スペースを確保すると共に、西側にある原野敷地については、自然林を生かした休憩施設や、駐車場を整備する等、町民が広く利用できる施設を順次、整備計画していく。

先進事例に学ぶ!

☆常任委員会所管事務調査報告☆

総務文教委員会

去る5月11日、総務文教常任委員（豊枝委員長他5名、教育委員会からは、教育長・牧指導主事、事務局芋高智美氏の9名）は、

- ① 心の教育（孔子の里）（佐賀県多久市）
- ② 周産期医療，地域医療，離島への特別支援教育委員会事務局（養護学校）等の対策について（県庁各課）
- ③ 西郷南洲顕彰館（鹿児島市内）

について視察し、本町がかかえる問題・課題への調査を実施致しました。

その中から①心の教育についての視察調査の成果を報告します。

「多久の雀は論語をさえずり」「多久の百姓は鋤を置いて道を説く」との昔からの言い伝えがある。さて、多久市とは、佐賀県中央部の中山間に位置する人口約2万5千人程の小さな町で、実際、車で市街地を走ってみてもどこにでもある田舎町という以外にこれという特徴はない。この様な町に全国に誇れる唯一の旧跡がある。それが「孔子」を祀る「多久聖廟」と学問の館「東原庠舎」や聖廟を中心とした歴史公園ゾーンである。

誰もが知っている「孔子」とは今から約2,500年前に中国に生まれ、人の道、心の美しさや学問の大切さを世界に広めた論語学者である。その影響は、世界はもちろん、特にわが国の教育の根源として現代にも根付いていると思う。

我が国に「孔子」の教えである論語教育は約1,300年前の応神天皇の時に伝わって来た事が「古事記」の中に記されている。

しかし、全国的に孔子廟や学校の造営が盛んになり、儒学が社会的に広く浸透していくのは、戦国時代を経て、元禄時代になる。世の中が平和と安全を求める様になり、当時の領民の貧困打開策として「衣食足りて礼節を知る」という言葉通りで、武士は軍事能力より行政手腕、つまり、現代でいえば官僚的資質（政治）が求められるようになった。

今から約300年前に、儒教で国興しをしようと、小さな邑（村）の領主が（多久領主4代目）、徐々に冷えし、減少する小さな邑（村）を救済し再興するために、武士・町人・農民と身分を問わず「孔子」「多久聖廟」や「東原庠舎」（学校）を造営し「朋あり 遠方より来る また楽しからずや」という論語教育を広め、志ある者が学べる学校と誰もが お参りできる象徴として今なお存在している。

多くの領民たちは、人の道を学び、学問を学び、また「経世済民」という言葉通り明治維新時代を担う人材を多数輩出している。

明治維新の立役者である世界の偉人、西郷南洲も当時は孔子の論語を学び中国の儒学に没頭し「孔子」の影響を受けたものと思われる。

本町の教育理念は、その西郷南洲の教えと学問を基礎に今日に到っているものと推察する事が出来る。従って、多久市の教育理念と本町の教育理念は相通ずる物が数多くあり、共通点を感じる事ができた。



孔子の教えを実践します



多久市の手作り論語カルタ

経済建設委員会

期 日：5月10日

調査地：北海道栗山町

事 項：栗山町議会基本条例について

栗山町議会は「2000年4月1日施行された地方分権一括分権法」や「町民にわかりやすい議会」「議員は財政問題に弱い」等を背景に、議会基本条例を作り、議会改革に取り組んできた。

栗山町議会基本条例の特徴として

1. 町民や団体との意見交換のための議会主催による一般会議の設置。
2. 請願・陳情を町民からの政策提言としての位置付け。
3. 重要な議案に対する議員の態度（賛否）を公表。
4. 年1回の議会報告会の開催の義務化。
5. 議員の質問に対する町長や町職員の反問権の付与。
6. 政策形成過程に関する資料の提出の努力義務。
7. 5項目にわたる議決事項の追加。
8. 議員相互の自由討議の推進。
9. 政務調査費に関する透明性の確保。

10. 議員の政治倫理を明記。
11. 最高規範性と4年に1度の見直し。
12. 町民から議会運営に関し、提言を聴取する議会モニターを設置。
13. 有識者に政策づくりへの助言をもらう議会サポーターの導入。

などが上げられる。

執行部に行財政改革を求める議会として、自らを改革する条例であり、多くの地方議会が取組んでいる。又、条例を生かした議会にするには、議会を構成する一人一人が議員としての力量をより高めなければならない。力量を高める事が執行部をチェックする議会の権能を強め、地方の行財政改革につながるものと思う。

期 日：5月11日

調査地：北海道夕張市

事 項：夕張市が破綻した経緯について

夕張市はかつて炭鉱の街として栄えたが、「石炭から石油」へのエネルギー政策転換により、次々と炭鉱が閉山していった。1990年には、最後の三菱南大夕張炭鉱が閉山し炭鉱がなくなった。これにより、炭鉱会社が設置したインフラを市が買収する事になる。

1982年には、夕張炭鉱病院の市立病院移管に40億円、鉱産税61億円の未払い、炭鉱住宅5000戸や上下水道設備の買収に151億円等、「炭鉱閉山処理対策費」に総額583億円を費やしている。

又、産業を「炭鉱から観光へ」と変え、テーマパークやスキー場を開設したが、もともと観光資源に恵まれない土地に派手な観光、レクリエーション投資を行った。過大な投資や放漫経営が累積赤字として市の財政を圧迫する。一時借入金やヤミ起債など粉飾まがいの決算が続き、この事が表面化し財政再建団体となった。財政再建団体に至るまで議会は何をしたのかと問われる。執行部と議会は一体だったのかも知れない。よく議会は財政に弱いといわれるがそうかも知れない。

少子高齢化、人口減少化の中、経済の縮小も考えられる。税収が落ち込む中、国も地方も財政難の運営を行わなければならないが、執行部をチェックする議会として財政に強くなければならないと思ったところである。



栗山町議会議長を囲んで



夕張市議会議長を囲んで

第53回 奄美群島市町村議会議員大会

と き：平成22年5月19日 ところ：大和村体育館

第53回大会は、群島内の議会議員と事務局職員合わせて185名出席した。また、来賓として、打越衆議院議員、野村参議院議員、与力雄県議、永井章義県議、禧久伸一郎県議も出席され、議長会及び各地区から提出された議題に助言をいただきました。

大会では、「奄美群島振興開発事業予算の確保を期する」等16の決議と8の議題を採択し、今後、関係機関への陳情などを通してその実現に取り組んでいくこととしました。また、町村議会議長に6年以上在職したとして、前田力議長、町村議会議員に10年以上在職したとして、和正巳副議長、伊集院徳二議員がそれぞれ自治功労表彰されました。尚、今大会では、特別決議として、「奄美群島振興開発の推進に関する特別決議」と「米軍普天間基地の徳之島移設に反対する特別決議」が採択されました。



永年表彰される前田議長



全体会の様子

《議長会及び各地区提出議題》

1. 地籍調査事業の推進と助成措置の見直しについて（大和村・宇検村・瀬戸内町）
2. 国民健康保険に対する国庫負担の見直し・増額について（奄美市町）
3. 離島航路就航船舶の新船建造費補助制度の拡充及び交通網の整備について（龍郷町・喜界町）
4. 緊急用ヘリポート設置について（徳之島町・天城町・伊仙町）
5. さんご礁の自治体面積への算入を（和泊町・知名町・与論町）

（趣旨）

湖に面する自治体では湖に境界線を定めて、これを自治体面積に算入し、地方交付税の増額につなげている。さんご礁についても自治体の面積に算入し、交付税に反映させていただきたい旨、強く要望する。

6. 農業者年金の制度改正と認定農業者の退職金制度の導入について（議長会）

（趣旨）

農業者年金は保険料額の高さと制度の仕組みが加入阻害となっている。また、外海離島にある群島農業は、流通経費がネックとなり、農家経営が安定しない。このため、農業後継者が夢と希望の持てる就農環境を整備しなければならない。

よって、農業者年金の引下げを含む制度改正と認定農業者の退職金制度の導入を強く要望する。

7. 離島における消費税の撤廃について（議長会）

（趣旨）

消費税は、離島の高い物価や輸送コストに更に上乗せされており、本土に比べて余分に税負担をしていることになる。今後、現在の体制のままで消費税率がアップすることになると特に外海離島は更なる負担を被ることになり、離島経済に多大な影響を与える。よって、離島地域における消費税の課税については、撤廃、若しくは特例的に軽減措置を講じていただくよう強く要望する。

8. 鹿児島地方法務局出張所の存続について（議長会）

（趣旨）

登記行政サービスを維持し、地域住民の利便性を確保するため、奄美群島に配置してある出張所の存続を強く要望する。

平成22年 第1回臨時議会

平成22年6月28日第1回和泊町臨時議会が開会されました。提出議案と審議結果は以下のとおりです。

議案第39号 平成22年度和泊町一般会計補正予算（第2号）について

（債務負担行為の追加）

審議の結果 否決

議案第40号 工事請負契約の締結について（大城小学校体育館改修工事）

契約金額 一金58,800,000円也

相手方 株式会社 新協

審議の結果 可決

議案第41号 工事請負契約の締結について（内城小学校体育館改修工事）

契約金額 一金59,535,000円也

相手方 株式会社 町田建設

審議の結果 可決

議案第42号 工事請負契約の締結について（国頭小学校体育館改修工事）

契約金額 一金61,950,000円也

相手方 株式会社 向建設

審議の結果 可決

鹿児島県後期高齢者医療広域連合議会議員に前田議長

平成22年4月23日告示の鹿児島県後期高齢者医療広域連合機会議員（町村議会議員選出区分）選挙において、本町の前田 力議長が鹿児島県町村議会議長会推薦により当選いたしました。また、議員の任期満了に伴う大島郡町村議会副会長選挙においても、指名推薦により前田議長が、副会長に就任いたしました。

編集後記

鳩

山首相の辞任に伴い、菅内閣の誕生と目まぐるしく変貌する政界の中、去る6月4日に本町でも子ども手当が支給され、子育て中の家計にあっては有り難い制度だと推察いたします。しかしながら、将来の日本経済、国民に大きな負担となるのは看過できません。又、隣の宮崎県では、目にみえない敵といわれる家畜の伝染病、口蹄疫が発生し、壊滅的な被害となつていきます。畜産県鹿児島でも感染拡大を防ぐためセリ市が中止となり、収入を絶たれた畜産農家が悲鳴を上げています。収入がないうえに、エサ代が高み負担増となり、沖永良部畜産にも大きな影響がでていきます。町民が非常事態と認識し、限りある財源を有効に活用する必要があるといえるでしょう。

（文責 永野利則）

議長 前田 力
 議会報編集委員
 委員長 宮田 裕雄
 副委員長 泉 秀樹
 委員 永野 利則
 同 平 勝美